

農林漁業のうごき

京都府 No.184 平成30年 ふゆ号

「おいしい京都」
大収穫祭
京都府農林水産フェスティバル
2018



府内各地の農林水産物が大集合！
前年を上回る来場で大盛況！



有名料亭による「京都食文化体験」



農林水産業の未来を変える
最新の技術が集結した「スマート農業祭」

▲（12ページに関連記事を掲載）

内容

特集 1	農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀技能・若手農林漁業者が表彰・認定されました …… 2～3 ～平成30年度 京都府農林水産フェスティバル表彰式典～
特集 2	平成30年秋 叙勲・褒章受章者の紹介 …… 4
特集 3	京都府都市農業振興アクションプラン～京都府都市農業振興基本計画～ …… 5
特集 4	平成30年度9月・12月補正 農林水産関係予算の概要 …… 6
トピックス	こと京都 株式会社が“天皇杯”を受賞!! …… 7～8 ／「第2回京のプレミアム米コンテスト」入賞米8点が決定！ ／“もったいない”を減らそう！食品ロス削減の取組 ／平成30年度「京の食6次産業化コンテスト」の入賞商品が決定！
シリーズ	農林水産技術センターへようこそ 第8回 畜産センター／海洋センター …… 9
地域の取組	「丹後グルメ月間（9月～10月）」の開催 …… 10～11 半農半X的local編集塾セミナー及び現地取材を開催!! ～中丹の人や農の魅力を発信～ 黒大豆の摘心（てきしん）栽培で安定生産をめざします 美味しい「えびいも」を食べよう！「京やましろえびいも王国プロジェクト」活動中
シリーズ	スマート技術の活用で農林水産業が変わる！ 第1回「京都スマート農業祭2018」が開催されました …… 12

特集
1

農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀技 ～平成30年度 京都府農林

11月24日(土)、京都市伏見区の京都パルスプラザにおいて、京都府農林水産フェスティバルが開催や団体、農林水産業の経営改善や農山漁村の活性化に意欲的に取り組む若手農林漁業者の皆さんの表彰「匠」として認定する農山漁村伝承優秀技能認定の認定式を行いました。

＊農林水産業功労者表彰＊

(敬称略)

経営改善に取り組み、他の模範となり農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

池田 徳治/京都市	上野久美栄/京都市	大江 一正/京丹後市
岡本 博/長岡京市	長村 信幸/八幡市	河邊 恵二/与謝野町
坂田 悦夫/綾部市	清水 正之/向日市	添田 潤・光子/舞鶴市
徳見 晃・多津子/南丹市	森下 登/京丹波町	吉川 保男/久御山町
株式会社味歩里/福知山市	湊漁業株式会社/京丹後市	

新品種開発・新事業開拓に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方

外田 誠/南丹市

女性の地位向上のための活動に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

片岡美恵子/福知山市 神谷みつ子/京丹波町

団体の役員として団体の発展や農林水産業の振興及び発展に顕著な貢献をした方々

大槻 紘/福知山市	小嶋 秀夫/木津川市	永田 良巳/亀岡市
堀井 政弘/城陽市	室田美貴雄/京都市	
一般社団法人京都府猟友会京都市ブロック/京都市		
京都府養蜂組合丹後支部/宮津市 舞鶴市森林組合/舞鶴市		

農山漁村における地域資源を活用した活動に取り組み、農山漁村の活性化に顕著な貢献をした方々

ガレリア朝市/亀岡市 農事組合法人かわい/福知山市
 農事組合法人たち/綾部市 農事組合法人妙楽ファーム/京丹波町
 八幡市ねぎ出荷組合京・はちまん/八幡市

農政課 総務担当 TEL: 075-414-5653



山下副知事あいさつ



表彰式典会場の様子

能・若手農林漁業者が表彰・認定されました 水産フェスティバル表彰式典～

されました。この中で、多年にわたり、府内の農林水産業や農山漁村の振興と発展に功労のあった方々を行いました。また、農山漁村において受け継がれてきた生産・生活技能に優れた方々を農・山・海の

＊農山漁村伝承優秀技能認定＊

(敬称略)

【農の匠】		【山の匠】	
奥西 龍男/京田辺市	霜尾 誠一/舞鶴市	藤田 利幸/京都市	
田鶴 隆司/京都市	林 種男/京都市		
原田 雅之/亀岡市	古川 美子/城陽市		
百田 宏/京都市			

農産課 農業応援伴走支援担当 TEL：075-414-4957

＊若手農林漁業者表彰＊

(敬称略)

農林水産業の経営改善等に取り組み、地域の担い手として期待される方々

家城 友彦/京丹後市	大熊 明宏/京丹波町	岡本 逸平・厚子/伊根町
勝田 洋平/福知山市	川嶋 裕貴・瑠美/久御山町	北澤 良祐/城陽市
倉 亜衡/伊根町	霜尾 和秀・恵美/舞鶴市	下西 博之/京都市
隅野 和幸/京丹後市	伊達 正将/与謝野町	友成 善隆・正菜/亀岡市
長濱 正実/京丹後市	畑 康久/和束町	堀井 良純/城陽市
初山 宜隆・由里子/京丹波町	森上 翔太/木津川市	森田 晃司・礼子/京都市
山本 将司/京丹後市	吉川 和孝・奈々/久御山町	

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成担当 TEL：075-414-4912

受賞者からひとこと

農林水産業功労者表彰 大槻 紘 様

地域における農地集約を進めるに伴い、集落の農道や水利等、農業関連インフラをどのように維持・管理していくか、これからの地域農業にとって大きな問題になりつつあります。非農家を含む地域住民全体での取組について組織化を進めていきたいと考えております。

若手農林漁業者表彰 下西 博之 様

この度は、名誉ある賞をいただきまして誠にありがとうございます。この栄誉は自分だけの成果ではなく、私を指導し育てていただいた米嶋銘木の社長や、日々の業務を支えてくれた先輩と同僚の皆様のお陰であると実感しています。今回の受賞を糧として、林業の知識や技術をさらに磨き、地域の林業の発展に貢献できるよう精進してまいります。



特集
2

平成30年秋 叙勲・褒章受章者の紹介

平成30年秋、京都府で長年農林水産業に従事してこられた方々が、旭日小綬章、旭日双光章、旭日単光章、黄綬褒章を受章されました。この度受章された、吉田 利一さん、川勝 康行さん、酒井 愛夫さん、山脇 英富さんをご紹介します。

よしだ りいち 現 全国茶生産団体連合会 会長
吉田 利一さん 現 京都府茶生産協議会 会長

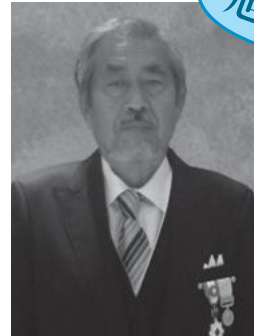
ご本人コメント

光栄という以外言葉が見つかりません。

茶関係者全ての皆さんのおかげであり、感謝を申し上げます。

全国の茶を作る仲間と、今後とも情報交換を続けていくとともに、子供の頃からお茶を飲むことを習慣づけ、日本茶文化を守り育てていきます。

〈御功績〉 全国茶生産団体連合会会長や京都府茶生産協議会会長等の要職を歴任され、伝統的な「本ずによる覆下栽培」技術の保存と継承に貢献されるとともに、宇治茶の安心・安全に対する信頼性の確保に尽力されるなど、茶業の発展に寄与されました。



旭小

かわかつ やすゆき (株)川勝總本家 代表取締役
川勝 康行さん 元 京都府漬物協同組合 理事長

ご本人コメント

先代の父が亡くなり、25歳から家業を継いで半世紀、いたずらに事業や収益の拡大を求めることなく、日々堅実に商いを進めて参りました。

これからも、京漬物の伝統を未来へとつないでいくため、一步また一步と進んで参ります。

〈御功績〉 50年の永きにわたり漬物業を営まれ、その優れた指導力により、京漬物の専門店として全国有名店にまで引き上げました。京都府漬物協同組合理事長や関西漬物協会副会長等の要職を歴任され、京の伝統野菜「京山科なす」の漬物を復活させるなど、業界の発展に寄与されるとともに、京漬物文化の継承・普及に尽力されました。



旭双

さかい なる お 元 亀岡市西部土地改良区 理事長
酒井 愛夫さん

ご本人コメント

この度の受章は、役員の皆様をはじめ組合員の皆様方から御協力をいただき、事業運営に当たってこられた結果であり、心からお礼申し上げます。

農業・農村を取りまく環境は、農業や地域における担い手の高齢化による後継者不足など大きな課題を抱えており、益々厳しい状況にあります。今後とも地域住民の皆様方と一体となり、地域農業の振興や安心・安全な地域づくりに努めてまいります。

〈御功績〉 土地改良区理事長として、農業用施設の維持管理等に関する情報システムをいち早く導入し、業務の効率化や財政の安定化に尽力されるなど、土地改良区の運営はもとより、地域農業の振興に貢献されました。また、住民主体によるため池の安心・安全マップの作成に取り組まれ、災害に強いまちづくりに大きく寄与されました。



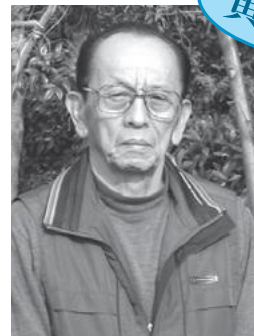
旭単

やまわき ひでとみ 現 農業
山脇 英富さん 現 京都農業協同組合 理事

ご本人コメント

京野菜の重要な産地のため、野菜の新規就農希望者は多いが、助成金が途切れると道半ばでやめてしまう人も多い。若い人の志と豊かな土地を守るために、よき相談者として活動を続けたいと考えております。

〈御功績〉 昭和31年から農業に従事され、ブロックローテーションにいち早く注目し、水利ごとの農地の振り分けや水稲とビール麦、白大豆栽培での導入を提案し、ブロックローテーションによる農地利用方法を確立するなど、長年にわたって地域農業のリーダーとして卓越した指導力を発揮し、地域農業の振興に大きく貢献されました。



黄綬

特集
3

京都府都市農業振興アクションプラン ～京都府都市農業振興基本計画～

農林水産部では、京都の強みを生かした農林漁業の振興と、地域の絆を育む農山漁村の活性化を図るため、府民の皆さんのご意見を反映しながらアクションプランを策定し、課題解決に取り組んでいます。

今年度新たに策定したアクションプランについて、その概要を紹介します。

府内で展開されている都市農業は、京の食文化を支えてきた高品質な農産物の生産に加入、防災や国土保全等の公益的機能があり、多くの住民が享受しています。一方で、市街化区域内農地は後継者不足等により、10年間で約2割が減少しており、今後も更に減少することが懸念されています。

そこで、京都府では『農が育む多面的機能と都市との共生社会の実現』を目指して、農業経営体の経営基盤強化や多様な主体による農地の活用、都市住民の農業理解の促進等の取組により、都市農業を振興してまいります。

I 都市農業の経営基盤強化（「ものづくり農業」の推進）

- 観光や食産業と連携した農業経営の多角化や立地を生かした多様な流通形態の活用
(6次産業化や販路拡大、農業者のグループ化等の推進)
- 高品質な農産物生産に伴う技術力の向上と生産条件の整備
(住民に配慮した営農技術の普及、農業用機械等生産条件の整備)
- 農地の流動化による担い手への集積
(都市型農地バンクの設置、都市農業に関する相談窓口の開設)



良好な景観を形成する
都市部の農地

II 多様な主体による農地の多面的活用（「ことづくり農業」の推進）

- 多様な主体による新たな農地活用
(教育・健康等を目的とした農地活用の推進)
- 緑地など都市空間・インフラとしての確保
(生産緑地制度や防災協力農地の普及啓発)



体験農園での農作業の様子

III 都市住民の農業理解の促進と「農」を通じた地域コミュニティの形成

- 「農」を通じた人と人との交流促進
(体験農園や市民農園、学習農園、食育・地産地消等の推進)
- まちからむらへの掛け渡し
(都市住民に対する就農・就業機会の創出、府域の農業担い手の育成)

<国の動き>

- ・平成27年4月 都市農業振興基本法 施行
→都市農業の安定的な継続と多様な機能の発揮を通じた良好な都市環境の形成に資すること等を目的に制定
- ・平成28年5月 都市農業振興基本計画 策定
→都市農地の位置付けが、「宅地化すべきもの」から都市に「あるべきもの」へ大きく転換
- ・平成29年6月 改正生産緑地法 施行
→条例による生産緑地地区の面積要件の引き下げ等
※一部、平成30年4月施行（特定生産緑地制度の創設等）
- ・平成30年9月 都市農地の貸借の円滑化に関する法律 施行
→生産緑地地区内の農地の貸借権の法定更新適用除外等

経営支援・担い手育成課 集落営農・法人化担当 TEL：075-414-4908

特集
4

平成30年度9月・12月補正 農林水産関係予算の概要

9月補正予算

1,013百万円

◎6月補正での平成30年7月豪雨に関する追加対応に加え、相次いだ台風被害（12号・20号）等への対応として、一般会計で10億1,330万円の補正予算を編成しました。

【主な内容】

- ①農林水産施設の災害復旧（974百万円）
 - ・水田やため池、林道等の復旧
- ②農業者等復興支援（35百万円）
 - ・パイプハウス等の復旧支援

9月補正予算（台風21号関連）

166百万円

◎台風21号による強風で倒壊等の被害を受けたパイプハウスや倒木等の復旧支援を中心として、一般会計で1億6,600万円の補正予算を編成しました。

【主な内容】

- ①農業者等復興支援（140百万円）
 - ・パイプハウス等の復旧支援
- ②森林災害緊急整備（10百万円）
 - ・被害木の伐倒・集積や再造林に向けた環境整備を支援



◀西脇知事が台風21号の被害状況を視察

12月補正予算

544百万円

◎本年度に連続して発生した災害による被害に対し、国の補正予算も活用して速やかな復旧・復興を支援するため、一般会計で5億4,400万円の補正予算を編成しました。

【主な内容】

- ①パイプハウス以外の農業施設等への支援（308百万円）
 - ・畜舎や農業用鉄骨ハウスなど大規模施設の復旧支援
- ②山地における二次被害の防止（212百万円）
 - ・今年度被災箇所での二次被害防止のための治山施設等設置
- ③被災した漁業者への支援（24百万円）
 - ・定置網の被害に対する復旧支援

トピックス

こと京都株式会社が"天皇杯"を受賞!!

人づくり・組織づくり

京都の農業法人「こと京都株式会社（代表取締役 山田敏之氏）」が栄えある平成30年度の農林水産祭天皇杯（多角化経営部門）を受賞され、11月23日（金・祝）明治神宮において天皇杯を賜りました。

受賞者の横顔

こと京都株式会社

- ◆平成11年創業の国内有数の九条ねぎ生産者であり、生産～加工・販売までの6次産業化に積極的取り組み、平成29年度優良経営体表彰（6次産業化部門）において農林水産大臣賞を受賞
- ◆女性の活躍にも積極的に取り組み、生産体制から商品開発等にも女性の視点を生かした活動が評価され、「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選」としても認定されています。



栽培ほ場の様子



展示会でのPRの様子



女性が活躍する職場

天皇杯とは

天皇杯は、農林水産業において、特に業績のあった最優秀者に授与されるもので、その年「農林水産祭参加行事」として開催され、農林水産大臣賞（約500点）を受賞した者の中から選定される栄えある表彰です。



天皇杯受賞の様子

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成担当 TEL：075-414-4942

「第2回京のプレミアム米コンテスト」入賞米8点が決定!

ものづくり・販路づくり

おいしいお米の生産技術の一層の向上を図り、京の米のおいしさを広くPRするため、京のプレミアム米コンテストを昨年に続き開催し、府内各地から応募された159点の中から、府民審査を経て、5ツ星お米マイスターや京料理の専門家による最終審査により、8点の入賞米を決定しました。審査員の皆さまからも改めて京都府産のお米の素晴らしさが高く評価されました。

- 最高金賞** 芝原 利晃（木津川市）ヒノヒカリ
金賞 とくみ農産 徳見 晃（南丹市）キヌヒカリ（3点）
 南條 康廣（南丹市）コシヒカリ
 西野 文雄（南丹市）コシヒカリ
入賞 宇野 久善（京丹後市）コシヒカリ（4点）
 有限会社京都ファーム（京都市）コシヒカリ
 衣川 優（福知山市）コシヒカリ
 西原 孝史（福知山市）コシヒカリ（敬称略）



受賞者の皆さまを囲んで（平成30年12月）

「京のプレミアム米」コンテストについて



農産課 京の米・豆・保険担当 TEL：075-414-4953

トピックス

“もったいない”を減らそう! 食品ロス削減の取組

安心・安全づくり

まだ食べられるのに捨てられている食べ物「食品ロス」は、日本で年間約646万トン（平成27年度推計値）発生しています。これは、日本人1人当たりで換算すると、お茶碗約1杯分が毎日捨てられている計算となり、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた食料援助量の約2倍に匹敵します。

京都府では、「食品ロス削減府民会議」を設置し、府民や食品関係事業者、行政等が一体となって、食品ロスの削減に向けた取組を進めています。

食品ロス削減 ポスターコンクールの実施

府内の中学生・高校生を対象に食品ロス削減の重要性やライフスタイルの見直し等を啓発するためのポスター作品を募集しました。入賞作品はポスターやパンフレットに活用し、府内の公共施設やスーパーなどの店舗に掲示します。



知事賞受賞作品
(京都市立双ヶ丘中学校1年)

「食べ残しゼロ推進店舗」の認定

食品ロスを出さない工夫を実践する店舗を「食べ残しゼロ推進店舗」に認定しています。



「食べ残しゼロ推進店舗」ロゴマーク
左：飲食店・宿泊施設版、右：食品小売店版

家庭での食品ロス削減に役立つ映像教材を公開中!
『食べきりクッキングレシピ』『冷蔵庫の整理収納』

京都府食の府民大学 調理力講座

食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当 TEL：075-414-5652

平成30年度「京の食6次産業化コンテスト」の入賞商品が決定! ものづくり・販路づくり

京都府農林水産物を使用した加工品コンテスト「京の食6次産業化コンテスト」を開催しました。39点の応募の中から専門家や消費者、バイヤーの審査により選ばれた入賞商品をご紹介します。

グランプリ

丹波・梅コンポート
UMEUME
株WAIRA TAMBA (京丹波町)



準グランプリ

茶和らび
Goodies (綾部市)



ベストうまいもん賞 宇治玉露 神秘の雫「YASUNORI」
京都宇治茶 都茶寮 (京田辺市)

ベストデザイン賞 青春アヒージョ
～ハーブへしこのオイル煮～
料亭 千代乃家 (京丹後市)

バイヤー賞 宇治紅茶「苺聖乃香」
(株)林屋久太郎商店 (宇治市)

コンシューマー賞 京都米サイダー
(株)根本堂農 (舞鶴市)

京の食6次産業化コンテスト

流通・ブランド戦略課 アグリビジネス戦略担当 TEL：075-414-4954

シリーズ 農林水産技術センターへようこそ

京都府の研究機関の研究内容や成果をご紹介します

第8回

畜産センター
海洋センター

平成30年に取り組んでいる研究を紹介します。

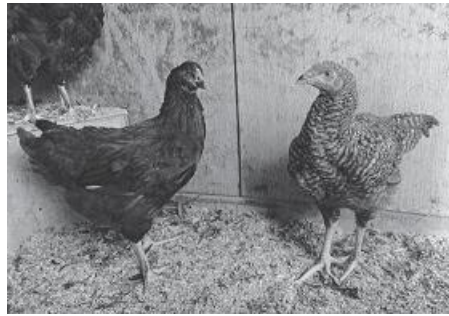
研究1 いっそう美味しい新「京地どり」にリニューアル

“きゅっと歯ごたえ”をキャッチフレーズにした「京地どり」は、当センターが開発した地鶏*で、適度な歯ごたえと美味しさは根強い人気があります。しかし、成長が遅いため生産者から改良の要望があり、肉質や発育が優れた新「京地どり」にリニューアルしました。

現在、新「京地どり」の特性を十分に発揮できる、飼料給与の改良試験を行っており、これにより最適な飼料を見つけ、いっそう美味しい新「京地どり」を皆様に食べていただくことを目指しています。

※地鶏：以下の3つの条件を満たす鶏

- ①在来種由来の血液百分率が50%以上
- ②28日齢以降、10羽/m²以下で平飼い
- ③75日齢以上飼育



新「京地どり」
(左：♀、右：♂)

ブロイラーに比べ、筋肉質で、調理したときの香りが良く、旨味が強い



新「京地どり」の鶏肉
(左：モモ肉、右：ムネ肉)

農林水産技術センター 畜産センター 研究・支援部 TEL：0773-47-0301

研究2 アカガレイの活魚出荷技術を開発

アカガレイは主に煮つけなどで食されていますが、鮮度が良ければ“しこっ”とした食感と甘みが味わえる刺身としても大変美味しい魚です。この美味しさを広めようと、平成27年から府漁協が「活メ京のあかがれい^{いけじめ}」の出荷を始めました。獲ったアカガレイを生かして持ち帰り、出荷直前に締めることで刺身に最適な鮮度が保たれます。しかし、出荷までに多くが死んでしまうなど、魚の持ち帰り方や保管方法等に多くの課題を抱えていました。

そこで、海洋センターではアカガレイを運搬、保管する水槽内の最適な水温や水質、収容密度などを明らかにし、安定供給ができるよう技術開発を進めています。

鮮度抜群の「活メ京のあかがれい」を店頭で見かけたら、ぜひご賞味ください。



一つのかごへの収容密度を調査



活魚出荷されるアカガレイ



アカガレイの刺身

農林水産技術センター 海洋センター 研究部 TEL：0772-25-3076

地域の取組

丹後

丹後グルメ月間(9月～10月)の開催

丹後王国「食のみやこ」において2週連続でグルメイベントを開催し、総計26,423名の方がグルメを堪能しました。

「丹後グルメフェスティバル2018」では、丹後の地酒の試飲販売や、ばらずしの調理体験を行うなど、多くの方に丹後の伝統食を楽しんでいただきました。

「道-1グランプリ2018」では、全国から選ばれた19の道の駅が看板メニューを持ち寄り、会場には様々なグルメが集まりました。京都府からは3つの道の駅が特産品を生かしたグルメを提供し、京都の美味しい食をPRしました。



ばらずしの調理体験
(平成30年9月17日)



道の駅グルメ出店者が勢揃い
(平成30年9月24日)

丹後広域振興局 農林商工部 企画調整室 TEL : 0772-62-4315

中丹

半農半X的local編集塾セミナー及び現地取材を開催!! ～中丹の人や農の魅力を発信～

8月11日(土・祝)、10月3日(水)に大阪ふるさと暮らし情報センターにおいて、半農半Xの提唱者塩見直紀さんと、「半農半X」を「ナリワイ」とする中丹の移住者をゲストに迎えた移住セミナーを開催し、10月20日(土)～21日(日)には移住セミナーで学んだ半農半X塾の実践として、福知山市三和町川合地区で現地取材を行いました。

今後も都市部の移住希望者に向けた情報発信の強化を図るとともに、中丹地域への移住定住を推進します。



移住セミナー



現地取材

中丹広域振興局 農林商工部 地域づくり推進室 TEL : 0773-62-2505

南丹

黒大豆の摘心(てきしん)栽培で安定生産をめざします

度重なる台風の襲来などの強風にあっても安定した黒大豆生産を行うため、倒れにくい草姿に仕上げる「摘心栽培^{*}」を奨めています。

※7月下旬に本葉7枚(主茎長40cm)程度を残して茎を短く切りそろえ、草丈を低くする栽培方法

過去の調査では、総節数や^{さや}莢数が増えたことにより、摘心区の収量が10%程度上回る好結果となりましたが、近年の気象災害により想定以上に作柄が変動することもあるため、今後は、厳しい気象にあってもなお収量・品質の低下を回避する技術確立を目指します。



摘心作業の様子



摘心前(左)と後(右)の株の様子

南丹広域振興局 南丹農業改良普及センター TEL: 0771-62-0665

山城

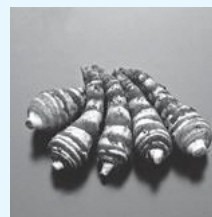
美味しい「えびいも」を食べよう!
「京やましろえびいも王国プロジェクト」活動中

山城地域の特産で、京のブランド産品である「えびいも」は、肉質が緻密で、味がよくしみ込み美味しいことから、国内需要に限らずインバウンドの観光客にも需要の伸びが期待されます。

本年7月、山城地域の「えびいも」生産拡大に向け、JA、生産部会とともに「京やましろえびいも王国プロジェクト」を設立し、省力化に向けた生産技術の開発や販売促進に取り組んでいます。

この冬には、えびいもを使ったレシピコンテストを開催します。

是非、美味しい「えびいも」をご賞味ください。

えびいもの生産拡大に向けた現地検討(上)
(平成30年7月)

えびいも(左)

山城広域振興局 農林商工部 企画調整室 TEL: 0774-21-2392

シリーズ スマート技術の活用で農林水産業が変わる！

第1回 「京都スマート農業祭2018」が開催されました

現在、農林水産業では、担い手の高齢化が進み、働き手不足が深刻になっており、作業の省力・軽労化、次世代への生産技術の継承等が重要な課題となっています。

そこで、京都府では、ロボットやICT技術等を活用して超省力・高品質生産を実現する「スマート農林水産業」を広く知っていただくため、平成30年11月24日（土）、25日（日）京都パルスプラザにおいて、技術展示・相談会「京都スマート農業祭2018」を開催しました。

当日は、約1,500名の来場者があり、農薬散布用ドローン、水田の水深がスマホなどの端末から遠隔監視・操作できるシステム、トラクタの自動操舵システム、水温・塩分濃度センサーにより海洋データを確認できるICTブイなど、これからの農林水産業を変える最新の技術を知っていただく良い機会になりました。

京都府では、スマート技術の情報発信を行うとともに、民間企業や大学、国などと連携しながら、京都府の実情に適したスマート技術の開発、普及に取り組んでいくこととしています。

※次回から各分野で注目されるスマート技術をご紹介します。



出展企業による実演、技術紹介



32企業、団体が最先端技術を展示

流通・ブランド戦略課 研究推進担当 TEL：075-414-4968

お知らせ

全国おいしい食べ盛り運動ネットワーク協議会 全国キャンペーン

忘年会
新年会は
**おいしく 残さず
食べきろう!**

～食品ロスを減らすために、できることから取り組みましょう～

宴会 4 箇条

- 1 まずは、**適量注文**
- 2 幹事さんから「おいしく食べきろう!」の**声かけ**
- 3 **開始30分、終了10分**は、
席を立たずにしっかり食べる「**食べ盛りタイム!**」
- 4 食べきれない料理は**中間で分け合おう**

京都府農林水産部食の安心・安全推進課 TEL075-414-5652 FAX075-414-4982

お知らせ

鳥インフルエンザ対策の徹底を!
～鶏やアヒルを飼っておられる皆様へ～

- ① 野鳥の食物源となる**果樹などはなるべく近くに植えない。**
- ② 鳥小屋の**防鳥ネットは2cm角以下にし、適時補修する。**
- ③ **飲み水は水道水を使用し、野鳥のエサ場とならないよう飼料の管理をきちんとする。**
- ④ 鶏舎周囲は草刈りや舗装等をし、**野鳥や野生動物が常在する環境を作らない。**

お問い合わせは、最寄りの家畜保健衛生所へ

発行/平成30年12月

編集/〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府農林水産部農政課 TEL：075-414-4946 E-mail：nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか

公式ホームページ <http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku/>